

単元名: 備えあれば うれしいな

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	からだと健康	言語レベル	1	必要時間数	6時間

I 単元目標

日韓の医療システムについて理解し、韓国のホームステイ先で自分の病状を説明したり、人の助けを借りながら受診したりするための語彙や表現、基礎知識を盛り込んだマニュアルを作ることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆病院で処置を受けるまでに必要な表現、場面を想定し、ロールプレイをすることができる。</li> <li>◆薬のパッケージやCM映像から必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>◆緊急マニュアルを作成することができる。</li> <li>◆体の苦痛や不調はことばで言えなくても、身振り、手振り、ジェスチャーなどを活用して伝える工夫をすることができる。(コミュニケーション・ストラテジー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆韓国の医療事情を知り、日韓の医療システムの異同を理解することができる。</li> <li>◆ジェスチャーが文化によって異なる場合もあることを理解し、使い分けることができる。</li> <li>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆海外旅行では不慮の事態に陥ったときの対応を知り、自分の身に置き換えて考えることができる。(知識理解)</li> <li>◆韓国の病院事情や必要な韓国語表現について調べ、実用的なマニュアルを作成することができる。(情報活用)</li> <li>◆日韓の医療事情、医療保険、社会福祉(バリアフリーなど含め)の現状について比較し、それぞれの国で抱える課題について分析することができる。(高度思考)</li> <li>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</li> </ul>

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【からだと健康】</p> <p>1-c. からだの調子(疲れているか、気分が悪いかなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-d. 病院や保健室に行きたいと言ったり、行くことを勧めたりできる。</p> <p>1-e. 身近な薬で必要なもの(風邪薬、痛み止めなど)を、言うことができる。</p> <p>2-h. 医師の指示(仰向けに寝てください、横を向いてくださいなど)を、聞いて理解できる。</p> <p>2-i. 医師に診断書を書いてほしいと、口頭で依頼できる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
----------------------	--

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の病気や怪我の状況を説明する。(発音の正確さ、表現や説明の適切さ)</li> <li>◆診察時の場面と必要な表現をマッチングする。(TPOにあった適切な表現を選べたか)</li> <li>◆医者役と患者役に分かれて診察の指示と指示に合わせて反応するロールプレイをする(発音の正確さ、表現の適切さ、理解度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆韓国で医療処置を受けるための緊急マニュアルを作る。(項目や表現の適切さ、わかりやすさ等)</li> <li>◆マニュアルにしたがって医療処置を受ける一連の流れのロールプレイをする。(一連の会話の流暢さ、表現の適切さ等)</li> </ul>

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆具合の悪そうな写真をみせ、何と言えはいいのか考える。不調を訴える単語と写真をマッチングさせる不調を訴える単語で、ジェスチャーゲームをする。【1-c】</p> <p>◆韓国で売られている身近な薬の包装や箱を見て、その形状や名称から、何に効く薬なのか推測してみる。【1-e】</p> <p>◆医薬品のCMを見て、なんの薬なのか当てる。薬の種類(風邪薬、鎮痛剤、目薬、粉薬、貼り薬など)の言い方を学習する。【1-e】</p> <p>◆診察時に行われる基本的な会話表現を学んだあと、医者と患者役に分かれて、医者の指示(横になって/あ〜して/息を大きく吸って、など)に患者がすばやく反応できるかを練習する。【2-h】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p>&lt;場面状況&gt; M高校では、韓国の交流校を訪ねて、ホームステイすることになったので、滞在先で病気やけがをしたときのために韓国語で状況や症状を説明するのに必要最低限のマニュアルを作ることにした。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt; ホストファミリーや相手の高校生に不調を知らせたり、薬局や病院で症状をどうやって説明したらいいかを考え、それを韓国語で何と表現するのか(ジェスチャーだとかどう表現するかなどを含めて)グループで調べる。病院に行くためタクシーに乗ったり、受付で状況を説明するなど、処置を受けるのに必要な場面を考え、人の助けを借りながら受診するのに役立つ表現を調べる。</p> <p>保険を請求するために医師に診断書を依頼したり、病院の会計で処方箋を受け取って薬局で薬を買って帰るなどの場面も想定してマニュアルを作成する。マニュアルを使って、ジェスチャーも入れ、協力者がいることも想定して実際に使えるかどうか、ロールプレイをしてみる。</p> <p>実際に韓国に行き、交流校を訪ね、ホームステイをする。帰国後、反省会を開き、マニュアルの内容が適切だったかについて話し合い、必要な表現を追加したり修正したりしていざというときに安心な緊急マニュアルを完成する。</p>	
<p>&lt;使用教材・教具&gt; 自治体で発行している韓国語母語話者向医療マニュアル、薬のCM映像、韓国の医薬品のパッケージ、保険会社に請求する際の報告書フォーム</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p>&lt;表現&gt; 택시 타세요. / 병원에 가요. / 어디 아프세요? / 어떻게 오셨어요? / 아파요. 아, 해보세요. / 진단서 써주세요. / 괜찮아요. / 여기서 기다리세요. / 일본말 할 수 있어요? / 일본어 아는 사람을 부탁드립니다. / 알려주세요. / 반대쪽을 보세요.</p> <p>&lt;表現のポイント&gt; —세요. /—아·어 주세요. /—았·었어요</p>	<p>病院施設関する語句(병원、약국、회계、응급실)、体の部位(몸、머리、손、발、배など)、処置内容(처방전、링거、주사、입원、수술)、症状を訴える(빨리빨리 많이、조금、어제부터、오늘、아까)、医師の指示、処方、薬の飲み方</p>	<p>&lt;事象&gt; ◆日本語の通じる病院、外国人専用診療のできる病院 ◆受診の仕方 ◆薬局や薬の買い方 ◆韓国の医療保険や社会福祉</p> <p>&lt;事象のポイント&gt; ◆海外旅行では不慮の事態に陥ったときに、自らに適切な判断が求められることを自覚し、予め現地の医療事情を調べておくことが必要。 ◆韓国の病院では診療が後、会計が先である。 ◆韓国の薬局では、カウンター式が一般的で、薬剤師に病状を伝えて薬を出してもらう。 ◆韓国の医療費は高額である。日韓の医療制度、医療保険、社会福祉について比較し、考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
病院、介護施設、薬局、韓国でホームステイ		保健体育(救急処置)